

自動会話プログラム「チャットボット」の実証実験を開始します

千葉市動物公園では、動物公園利用者の利便性向上と問い合わせ業務の効率化を図るため、人工知能を活用した自動会話プログラム「チャットボット」の実証実験を開始しますので、お知らせします。

1 実証実験期間

令和3年11月16日（火）9：00～令和4年3月31日（木）17：00

2 実施目的

- (1) 閉園時や電話回線混雑時など従来対応できない状況における利便性向上
- (2) 応答の均一化や情報蓄積及び分析による応答品質の向上

3 対象となる質問及び応答

入園料、開園時間、売店・レストランの情報などの基本的な施設利用に関する質問を対象とし、利用者のシチュエーションによって異なる質問に合わせ応答します。なお、動物やイベントに関する情報は含みません。

4 利用方法

千葉市動物公園公式のスマートフォン向けアプリケーション「ZooFull」及びホームページから利用可能です。

5 開発経緯

令和3年8月より正規導入した「ZooFull」の機能拡充の実証実験として、同アプリケーション運用事業者の協力を得て実施します。

ZooFull運用事業者：Dynabook株式会社

スマートフォンでの利用イメージ

The diagram illustrates the chatbot's functionality on a smartphone. On the left, a user enters the question '入園料はいくらですか?' (How much is the admission fee?). A yellow callout bubble indicates '質問を入力' (Input question). On the right, the chatbot provides an automatic response: '入園料はいくらですか?' followed by a list of questions and answers. A yellow callout bubble says 'チャットボットが自動で応答' (Chatbot responds automatically). Below the response, related questions are listed, and a yellow callout bubble says '関連した質問も表示します' (Also displays related questions).